

群馬県立前橋高等学校 学校評価一覽表 ② (平成28年度版)

(様式2)

羅 針 盤			達 成 度			改 善 状 況 の ま と め	学 校 関 係 者 評 価	次 年 度 の 課 題
評 価 対 象	評 価 項 目	具体的数値項目	①	②	総合			
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	① 自分の学校が好きだと感じている生徒の割合は80%以上である。	A	A	A	生徒の満足度は引き続き高い。学習や部活動、学校行事を充実させることができた。		特色ある教育課程について、引き続き検討を進めていく。
	2 生徒が自主的に活発な活動をしていますか。	① 部活動に95%以上の生徒が加入している。また、県総体総合5位以上及び関東大会以上に出場の部活動5つ以上を目指す。	A	A	A	部活動加入率109%であり、県総体総合2位を守り8部活動が関東大会以上に出場、硬式野球部関東大会出場、文化部も全国総文出場など活躍した。		加入率、大会成績とも良好である。学習との両立のみならず相乗効果を引き出しバランスよく指導を続ける。
		② 定期戦をはじめとした学校行事の内容の充実を図り、意欲的に取り組めた生徒が80%以上である。	A	B	A	定期戦では全生徒の主体的参加を目標にした実行委員会を中心によく取り組めた。結果は敗北だったが学ぶところ大であった。		蛟龍祭・優曇華・定期戦の3大行事を中心に、リードする生徒とフォローする生徒双方が充実感をもって学校生活を送れるように配慮する。
		③ 学校図書館の貸出冊数が6,000冊を超えている。	A	B	B	貸し出し冊数が目標の9割程度に留まる。読書の大切さを更に訴えていく。		各教科と連携し、生徒の図書館利用を促進する。情報発信を強化する。
II 生徒の意欲的な学習活動について、適切な指導をしていますか。	3 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	① 65分を有効に活用し、授業に80%以上の生徒が満足している。	A	A	A	生徒が主体的に活動し、思考力を高めることができるよう、授業改善に取り組んでいる。		生徒の学力の多様化に合わせた指導が求められており、指導形態等を工夫し、改善を図っていく。
	4 生徒は確かな学力を身につけていますか。	① 生徒が主体的に授業に取り組めるような授業改善のための研修会を各学年で年に2回以上実施している。	B	A	B	職員全体での研修会を1回実施。また、各教科で授業研修を行った。今後も、授業改善の取り組みを進めたい。		引き続き学力向上推進委員会を中心に、実施できるように計画していく。一層、生徒が主体的に活動するよう授業の改善を行っていく。
	5 基礎・基本の定着を図る指導が充実していますか。	① 平均家庭学習時間を1・2年で3.0時間、3年で4.5時間以上確保して、予習と復習に努めている。	C	B	B	3年生は受験が近づくとも自然と学習時間が増えるが、1、2年生のうちから学習習慣をもっと定着させたい。		予習・授業・復習のサイクルの確立を引き続き徹底するとともに、主体的自律的な学習をさらに促したい。
III 生徒の充実した学校生活について、適切な指導をしていますか。	6 組織的・継続的な指導を行っていますか。	① 学年会議・生徒指導部会議・教育相談係会議において、月に2回以上の生徒に関する情報交換を行っている。	A	B	B	各会議において、詳細な情報の交換が行われ、配慮を要する生徒に対して継続的に指導を行っている。		不登校傾向に関しては、計画的に情報交換を実施し、早期対応や未然防止を念頭に対応していきたい。
	7 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	① 遅刻をする生徒が、全校平均で1日あたり10名以下である。	B	B	B	早朝登校の勧めが定着してきており、朝型の規則正しい生活を心がける者が多いが、繰り返し遅刻をする者もいる。挨拶や規律遵守の状況は良好である。		朝型の規則正しい生活は、学習時間の確保だけでなく、余裕のある登校で交通事故防止につながるため、各分掌で連携して継続的に取り組んでいきたい。
		② 学校全体で、挨拶運動や規律遵守に取り組んでいる。	B	B	B			
8 いじめ防止等の対策が適切に講じられていますか。	① いじめの事実が隠蔽されず、実態把握やいじめに対する措置、また、いじめ防止等の対策を適切かつ組織的に行い、いじめのない学校を目指す。	A	A	A	いじめが発生しにくい環境作りを目指し、学年、進路指導部、特活部と連携し取り組む体制が維持している。アンケート等で得られたいじめに関する情報に対しては迅速に対応できた。		「いじめ防止基本方針」に従って、いじめを芽生えさせない学校作り、早期発見のための働きかけ、報告があった際の対処を組織的に行うこと等、職員の共通理解を確実にする。	
IV 生徒の主体的な進路選択について、適切な指導をしていますか。	9 計画的な指導を行っていますか。	① 進路に関するLHRを各学年で年に10回以上実施している。	A	A	A	年度当初の計画をほぼ予定どおり消化できた。		引き続き生徒の実態に即した内容を検討し、計画的に進めていく。
		② 「前高ジャーナル」、「進路概況」や「進学の手引」を、80%以上の生徒が役に立つと認識している。	A	A	A	予定どおり作成、配付できた。HRや個別指導でも活用している。		大学入試をとりまく状況や本校生の志望動向など、生徒や保護者のニーズに合った情報を提供していきたい。
	10 生徒は自らの進路希望について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	① 生徒のより高い進路目標の実現を目指し、生徒の大学合格率が80%以上、大学進学率が70%以上である。	未	A	A	志望校検討会や個別面談等を通して生徒個々に応じたきめ細かい指導を行っている。		志望校検討会による教員間の情報共有とそれに基づいた個別指導をさらに充実させていきたい。
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	11 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	① 「前高web page」の内容を月2回更新し、学習・進路・部活動等各種情報を発信している。	B	B	B	情報発信の頻度はかろうじて目標を達成できたが、内容の充実はまだ十分といえるレベルに達していない。		タイムリーな情報発信の充実に向けて、各分掌・学年等との連携を組織的に行う体制を確立していく。
	12 家庭、地域社会の教育力を活用していますか。	① 保護者や地域社会の人を講師とした講演会などを年に2回以上実施している。	A	A	A	母の会では今年も同窓会との連携も取り卒業生を招聘しての講演会を実施した。		母の会主催行事やPTA広報による新聞作りは、家庭との情報交換や共通理解に大きな役割を果たしている。より充実を期したい。
VI 学校における生徒の健康・安全に努めていますか。	13 生徒の安全意識向上の取り組みを行っていますか。	① 規範意識と危険回避能力を高める指導を行い、交通事故ゼロを目指して指導する。	B	B	B	半数は安全な運転中の事故である。余裕をもった登校、大通りの通行、危険予測と回避を継続的に指導した。		周囲への配慮と危機回避意識など、交通事故防止が人間力全体を向上させる点を協調し、指導していく。
	14 環境面で生徒の安全が確保されていますか。	① 毎月安全点検を実施する。また、年2回、防災避難訓練を行う。	B	A	A	休み時間中、経路に通過できない箇所を設定した防災避難訓練を実施し、生徒の自主性を喚起することができた。		次年度は、生徒を保護者に引き渡すまでの職員の訓練内容を工夫していきたい。
	15 保健面で生徒の健康が確保されていますか。	① 健康面で安心感があると、80%以上の生徒が回答している。	A	A	A	エピペン処方、AED研修を生徒対象にも実施でき、必要な情報の共有を図ることができた。		保健便り、学校保健委員会、研修などの実施を確実にし、感染症対策を来年度はより充実させたい。